

泉の自治だより

題字 田中伸一

No. 120

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 田中伸一
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中郷町 TEL 55-3653
編集部長 額 健二

静

実用書道フツフ
加藤 木曜会
薫

平成二十八年度泉町連合区
要望に対する回答書について

泉町連合区会長 田中伸一

平成二十八年度泉町連合区会の要望事項に対する回答書が九月三十日に届きましたのでここに報告致します。別表にて回答書に掲載させていたいただきました。

保育園にしまして、みつば保育園は現在地で補強工事が行われます。いずみ保育園は耐震補強が難しいので、小学校区に一園という認定こども園建設の計画にこだわらず、泉幼稚園・久尻幼稚園・泉西幼稚園等をあわせて大枠組として今後検討される様です。

泉公民館の新規建設には、前号の「泉の自治だより」でも書きましたが、早期の建設は敷地の問題等大変ハードルが高く、「泉町公共施設等整備促進委員会」に於いて委員の皆様にも説明し、現況今の施設の改善を進める要望と、駐車場の周りの垣根を撤去する様に要望しました。

また、泉公民館・泉児童センターに関しては、今後委員会で協議し、どのような要望がベストなのかを検討していきたいと思っております。駅前交番跡を拠点とし

て行っております「駅周辺パトロール」の詰所の問題ですが、駅前再開発により現在の駅前交番跡が取り壊され、トイレとバスの待合所を造る計画が進んでおりますので、併せて駅周辺パトロールの拠点としての新たな詰所の設置を要望しましたところ、待合室と一緒に詰所を造る様にすると回答でした。

榎公園は地震等の災害時に一時避難の場所でもあり、安全確保の為に陶祖碑の移転を今後とも要望していく考えです。以上回答書についての考えを書きましたが、泉町では公共施設の老朽化も進んでおり、新たな施設が急務であります。今後とも泉町連合区と泉町選出土岐市議会議員がタッグを組み協議を重ねながら取り組んでいきますので、泉町の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

榎公園は地震等の災害時に一時避難の場所でもあり、安全確保の為に陶祖碑の移転を今後とも要望していく考えです。以上回答書についての考えを書きましたが、泉町では公共施設の老朽化も進んでおり、新たな施設が急務であります。今後とも泉町連合区と泉町選出土岐市議会議員がタッグを組み協議を重ねながら取り組んでいきますので、泉町の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。



泉町連合区会要望事項に対する市からの回答

番号	要望事項	場所	担当課	回答
1	泉町認定こども園建設 (継続)	泉町内	子育て支援課	みつば保育園は今年度耐震補強工事を実施します。いずみ保育園については、泉幼稚園、久尻保育園及び泉西幼稚園もあわせて枠組みを再編し、施設の統廃合による認定こども園の整備等について検討しています。
2	泉公民館の建設 (継続)	泉町内	生涯学習課	引き続き「泉町認定こども園」建設計画の動向を見守らせていただきます。なお、泉公民館前駐車場からの退出時の危険除去については検討します。
3	泉児童センターの建設 (継続)	泉町内	子育て支援課	市では、公共施設等の総合かつ計画的な管理を推進するために公共施設等総合管理計画の策定中であり、全庁的に公共施設の方向性を検討しています。この計画との整合性を取りながら検討をしていきます。
4	駅前広場にパトロール詰所建設	土岐市駅前広場	都市計画課	平成29年度に設置する方向で現在関係機関（JR東海、岐阜県）と協議中です。
5	道路建設 (継続)	国道19号池の上交差点～中央自動車道新丸石橋～五斗時	監理用地課 土木課	国道19号線・池ノ上交差点から中央自動車道新丸石橋間の道路建設については、今後も国と協議しながら検討させていただきます。
6	陶祖碑の移転 (継続)	榎公園	都市計画課	本来であれば、陶祖碑の管理者で対策がされるべきだと考えますが、碑の移転・補強などの措置が取られない場合、榎公園管理者としては、公園利用者の安全を第一に考え、地震による碑の倒壊の危険から公園利用者を守るためには倒壊影響範囲内への立入制限しか方法がないと考えています。

泉町の交通安全を
防犯UPUPUP

編集部長 額 健二

定林寺の交番にお願いで資料をいただきました。

平成二十八年度一月一日から三月三十日までの期間で人身事故は三十一件、物損事故は二百九十件発生しています。昨年の同じ時期では人身事故が二十九件、物損事故が三百七十七件で人身事故が二件増加。この中には大富区内での一件の死亡事故が含まれています。また、夏の交通安全県民運動期間中では人身事故、物損事故共に昨年を上回っています。

交通事故は一瞬で起きます。ハンドルを握ったらより集中した運転に徹しましょう。この便りが発行される十二月中旬は、日が暮れるのも早く午後四時くらいから薄暗くなります。まだいいかなと思わず即ライトの点灯をしましょう。歩行者は明るく目立つ色の服装や夜光反射材の着用を。何かと気の焦る十二月だからこそ、制限速度を厳守して安全運転を。

防犯関係は、平成二十八年度一月一日から六月三十日までの期間で、刑法犯認知件数は五十七件で、昨年の七十三件より減少。車上狙い、侵入盗、自転車盗についても減少しています。警察や防犯関係に携わる方々、そして、泉町民の皆さまの高い防犯意識の表れではないかと思えます。



「道づくり委員会 実行委員の皆様へ感謝」

泉町久尻区 区長 秦野 友吉

平成十一年度久尻区会
において、「道づくり委員
会」が発案されました。

今年で十七年です。土
本真津夫実行委員長、川
上保男実行副委員長、山
村誠司実行副委員長、松
田伸男実行副委員長及び
歴代実行委員の皆様のご
努力により、平成十二年
十二月十二日から「土岐
可児線道路改良住民参画
型道づくり委員会規約」

トドした。
実行委員会の諸先輩の
根気強いご尽力と顧問と
して矢島成剛県会議員、
小栗恒雄・山内房壽・加
藤辰彦・和田悦子・各務
和彦各市議会議員、歴代
泉町連合区会長各位のお
力添えをいただき、当初
の目的に即した歩道のあ
る道路になりました。

また、岩畑交差点から
北にあった歩道橋も新歩
道橋に造り替え
られ、階段も緩
やかな勾配の階
段・スロープに
なりました。
歩道橋の名前
は、泉西小学校
のアンケートで
「ここにこ
歩道橋」と
名づけられ
ました。

本計画も平成二十九年
で完了する予定です。
また、道づくり実行委
員会により、毎年六月に
二回「土岐可児線車両通
行量調査」を実施してい
ます。この通行量調査は、
平成十一年より開始して
います。国道十九号線方
面→↑泉が丘町方面の通
行量調査は平成十九年度
より調査開始しています。

今年度は、第一回目六月
二十日(月)午前七時三十
分～午前八時三十分の実
施・上下線で合計一七一
八台、第二回目六月二十
九日(水)午前七時～八時
に実施・上下線で合計一
七八九台の通行量があり
ました。



五斗蔦交差点方向：右手に歩道が新設された

が施行されました。
道づくり委員会が発案
された理由は、「五斗蔦西
町内から泉西小学校まで
の通学路に歩道がなく、
車両の通行量も多く極め
て危険な状況から、通学
路の安全を確保する必要
性があった。」ことがスタ
マシました。

良住民参画型道づく
り委員会」は、アド
バイザーとして岐阜
県県土整備部多治見
土木事務所及び土岐
市建設部の関係各位
からのご助言をいた
だきながら進めてき
ました。



五斗蔦交差点方向から、左手に新設歩道

「土岐可児線道路改
良住民参画型道づく
り委員会」も一年半
ほどで完了しますが、
「道づくり委員会」は、
平成十三年度「新丸
石橋より国道十九号
線までの道路
新設住民参画
型道づくり委
員会」を立ち
上げ、平成十
四年十一月一
日に同上委員会規
約を実施しました。
委員会立ち上げ後
早十五年が経過し
ましたが、実施に
向けご尽力を期待
したいと思います。
県からは、「地方
道の道づくり委員



泉町久尻：歩道橋付け替え工事「ここにこ歩道橋」

会の実績は、県内ただ一
つです。」との言葉をお聞
きしています。
久尻区の住民を代表し
て、改めて、「道づくり実
行委員会」の諸氏にこれ
までのご努力に感謝申し
上げます。

泉町公民館祭 チャリティティーパザールのお礼

泉町連合区会女性部長 成瀬 菊代

十一月二十日(日)に開催された泉町公民
館祭において、チャリティティーパザールを行
いました。屋内ホールでは、泉町民各位から
提供された善意の品々の販売。屋外では泉
町の豊かな土地で育てられたお米・野菜類
の販売。多数の方々にお越しいただき、大
盛況の内に終了することが出来ました。商
品をご提供いただいた方々、お買い求めい
ただいた方々、本当に有難うございました。
売り上げは、公民館活動、女性部活動、そ
して、熊本災害復興支援に大切に遣わせて
いただきます。

